

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2017.10.15 No. 305 東京・羽村平和委員会発行



沖縄・高江 民家まで300メートル 牧草地で大型ヘリが炎上！



不安が現実のものになってしまいました。

10月11日(水)、米海兵隊普天間基地所属のCH-53E大型ヘリコプターが訓練飛行中にエンジン火災を起こし、午後5時20分頃、沖縄県東村高江の民間地に緊急着陸。乗員7人にケガはなし。機体は爆発音を上げながら瞬く間に炎上。約3時間後鎮圧状態になりました。



一夜明けた12日、機体の前半は原形をとどめないほど崩壊しています。翁長知事は12日、現場視察し、記者団に「日常の世界が一転してこういう恐ろしい状況になるということに違和感がある。悲しい、悔しい、そして怒りだ」と述べました。米軍は現時点で立ち入りを拒否。

横田基地に飛来して墜落した米軍機は ここ1年間で3機になった



CH-53E 強襲用大型輸送機スーパー・スタリオン

2017年8月29日、北海道での日米共同演習を終えたCH-53Eは4機で横田基地に飛来しました。9月1日、横田基地を離陸したのがYF04(左写真)。この機体が、今回、高江で炎上したCH-53Eであることが分かりました。

横田基地では、残留していたCH-53Eが基地周辺を飛行し、10月8日に1機が離陸、すべていなくなりました。



F/A-18 戦闘攻撃機ホーネット

2016年12月3日、米海兵隊の4機のF/A-18戦闘攻撃機が横田基地に飛来しました。12月4日に4機とも離陸しました。

ところがその中の1機(VE201)が、3日後の12月7日、高知沖に墜落しました。パイロット1人が死亡しました。



MV-22B 垂直離着陸輸送機オスプレイ

2016年10月20日、普天間基地所属のMV-22オスプレイが4機、横田基地に飛来しました。陸自朝霞駐屯地に行ったり、木更津駐屯地に行ったり、東富士演習場に行ったりして、10月24日に3機が離陸しました。その中の1機が左の写真のEP-06(竜)でした。2ヶ月経たないうちに、沖縄県名護市の浅瀬に墜落しました。

CH-53E、F/A-18、オスプレイと横田基地への飛来機、3機が墜落。米軍基地撤去で命守ろう！

CH-53 安全が確認されるまで飛行停止 たった96時間？ (No. 305 裏面)

米軍は今回の事故について謝罪の言葉もないようです。そして、日本政府は、炎上した CH-53E と同型機の安全が確認されるまでの飛行停止を求め、米側もそれに応じた、ということですが、その期間は 96 時間（4 日間）だそうです。96 時間経ったら事故のことも忘れるのか！

高江米軍ヘリ炎上 放射性物質飛散の可能性 矢ヶ崎克馬・琉大名誉教授の話

（事故の報道映像でも、機体残骸の傍らで、マスクをした米兵が何かを測定していましたが。）

「沖国大（沖縄国際大学）に墜落した米軍ヘリ CH53 には回転翼の安全装置に放射性物質ストロンチウム 90 が使用されていた。その際には六つの装置のうち一つを回収できず、米軍は気化したとし、環境に影響ないと主張した。

この時に消失した量は約 500 マイクロキュリー、1850 万ベクレルとされた。大変な量だ。

ストロンチウム 90 は高速ベータ線（電子）を出す。回転翼の中は真空になっていて、ベータ線を常時測定している。損傷が起き空気が入ると測定数値が激減し、警報が鳴る仕組みだ。



ベータ線は透過力が弱いので通常は近接しない限り危険性はないが、燃え上がると酸化しながら微粒子になって大気中に飛散する。空気中を漂う微粒子が体内に入ると内部被曝の危険がある。

今回も黒煙と一緒に周囲にばらまかれてしまったのではないか。爆発的に燃えていた様子からすると、複数の装置が燃えて沖国大より多く飛散したかもしれない。」（琉球新報 10/12,18:55 配信）

2013年4月 普天間基地のCH-53E大型ヘリが 韓国で墜落していた



2013 年 4 月 16 日、午後 1 時頃、韓国の南北軍事境界線付近の江原鉄原葛末邑付近で、米韓合同演習中の米海兵隊普天間基地の CH-53E 大型ヘリが着陸中に墜落しました。

ヘリに乗っていた 16 人は全員脱出しました。このうち重傷を負った 3 人が竜山基地病院に移送されました。

ヘリは墜落直後出火したため消防当局が鎮火にあたりましたが、機体の相当部分が焼失しました。

写真は、墜落した CH-53E ヘリの放射性物質流出有無調査。

スペイン軍戦闘機が墜落 操縦士1人死亡 祝日の軍事ショーで 10月12日

スペインで 12 日、祝日に合わせて行われた軍事ショーに参加していた戦闘機が墜落し、操縦していたパイロットが死亡した。と国防省が発表したと、AFP＝時事が伝えています。

国防省は声明で、「着陸体勢に入ったところで墜落した同機のパイロットが死亡した」と発表。同国軍の参謀長もツイッターの公式アカウントで、パイロットの死亡を認めました。

現場は首都マドリードから 300 キロ南東に位置するアルバセテにある軍事基地付近。地元メディアは、墜落したのは戦闘機「ユーロファイター」だと報じています。

スペインでは、10 月 12 日はクリストファー・コロンブスが 1492 年に新世界に初到着したことを記念する祝日になっています。東京・八王子市では 9 月 16 日にブルーインパルスが行われ、15 日にも予行演習で横田基地上空を飛行しましたが、「絶対安全」はありません。